

大垣北高で学べたこと

(京都産業大学名誉教授 大垣北高11期生 揖斐川町出身)

<http://tokoroisao.jp/> 所 功 (79歳)



1. 高校進学：昭和30年(1955)……全国約50%、西濃30%前後 小島中学10%弱
昭和32年4月入学……学区拡大、母親の応援、「有り難い」(当たり前ではない)
入学時の学力テスト……英数理はビリ(自信喪失)、国語のみトップ(自信回復)
2. 恩師・友人：クラス担任……(1)田中先生(英語) (2)桜本先生(数学) (3)竹中先生(国語)
クラブ顧問……(4)久世先生(放送部) (5)稲川先生(歴史同好会)
友人……各学年クラス・クラブで数人→生徒会(K君など)
3. 図書館活用：先生に紹介された名著を借りて読む(その要点を抜き書き)
・北高図書館(書棚の手伝い)、市立図書館(書庫に出入り)
※大垣・岐阜で古本さがし→大学以後も名古屋・京都・東京で古本屋めぐり
4. 歴史同好会：(5)稲川誠一先生(1926~1985)、東大(国史・院卒)→昭32~55北高
社会科(世界史・日本史)担当……講談調(面白い)、質疑歓迎(楽しい)
同好会(昭33)Y君と創立……週1読書会、月1見学会(顧問と自転車で)
5. 試験勉強：不得意な科目は友人と教えあう……英語(N君など)、数学(A君など)
得意な科目は自分でレベルアップ……国語・歴史(余分なことも覚えられる)
大学受験……自宅から通える学費の安い国立のみ(I期名大、II期岐大)全科目
6. 名大進学：昭和35年(1960)……斎藤校長先生の助言・支援
矢橋謝恩会の育英奨学金(4年間)、アルバイト(家庭教師・近ツ添乗員など)
日本歴史の研究と教育の可能な仕事を目指す→文学部史学科→教職55年
7. 私の信条：得意なことで人を助け、不得意なことは人に助けてもらう(お互いさま)
「無用の用も有用」(やりたいこと好きなことは続けていれば、
すぐに役立たなくても、いずれ役立つかもしれない)
8. 碩学名言：小柴昌俊博士(平成14年=2002年ノーベル物理学賞)
「チャンスは周到な準備をした者だけにやってくる」
→パスツール(1854年スピーチ) ”le hasard ne favorise que
les esprits préparés” ≒ Chance favors the prepared mind
「幸運は用意された心の中に宿る」(タブレット検索)



(逆転アンビグラム
野村一晟氏創作)